

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	横須賀米軍 独身下士官宿舎	階数	地上 8F
建設地	神奈川県横須賀市楠ヶ浦町	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	408 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年5月 予定	評価の実施日	2012年7月20日
敷地面積	6,306 m ²	作成者	南関東防衛局
建築面積	1,687 m ²	確認日	2012年7月20日
延床面積	12,516 m ²	確認者	南関東防衛局



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: A: B: B+: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

建設: 63% 模様更新・解体: 63% 運用: 63% オンサイト: 63% オフサイト: 63%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	構造的に耐久性の高い設計をしており、建物全体を断熱し、節水型衛生器具を積極的に使用している。	その他 0
Q1 室内環境	断熱建材を用いて建物の断熱化を図っている。	Q3 室外環境 (敷地内) 建物周囲に芝を張り、緑化に努めている。
LR1 エネルギー	各寝室及び共用部ファンコイルユニットの制御を、サーモスタット及び電動弁を使用した負荷追従のシステムとして、熱負荷の抑制に配慮した。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を設置していないため、大気汚染物質の放散がない。
Q2 サービス性能	耐震性に優れた設計をしている。	
LR2 資源・マテリアル	節水型衛生器具を積極的に採用している。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい